九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

COAL SWELLING IN SUPERCRITICAL CO_2 AND ITS EFFECTS ON ENHANCED COALBED-METHANE RECOVERY(ECBMR)

アンガラ, フェリアン

https://hdl.handle.net/2324/1470569

出版情報：九州大学, 2014, 博士（工学）, 課程博士
バージョン：
権利関係：やむを得ない事由により本文ファイル非公開（3）

（様式６－２）

氏　　名	FERIAN ANGGARA（フェリアン　アンガラ）
論　文　名	COAL SWELLING IN SUPERCRITICAL CO_2 AND ITS EFFECTS ON ENHANCED COALBED-METHANE RECOVERY(ECBMR) （超臨界 CO_2 中における石炭の膨潤および炭層メタン増進回収(ECBMR)に及ぼす影響）
論文調査委員	主　査　　九州大学　　教授　　佐々木　久郎 副　査　　九州大学　　教授　　渡邊　　公一郎 副　査　　九州大学　　教授　　三谷　　泰浩

論　文　審　査　の　結　果　の　要　旨

本研究は、超臨界 CO_2 を圧入し低品位炭層からの炭層メタンガス増進回収を実施する場合における石炭の膨潤特性を実験的に調べ、その特性を数値モデルとして組み入れた数値シミュレーションにより炭層メタンガスの生産特性および CO_2 貯留特性を明らかにしたもので、地球温暖化防止および資源開発工学上寄与するところが大きい。よって、本論文は博士（工学）の学位に値する者であると認める。